

第5章 地域貢献・情報発信及び管理・運営

第1節 地域貢献・情報発信

1. 現状の説明

(1) 公開講座及び一日体験入学

本研究科及び本学部の研究成果を広く社会に還元する地域貢献の方法は、本来多様であり、すでに述べてきたように、21世紀科学プロジェクト群の活動のいくつかは、社会貢献の意義をもったものも少なくない。また本学の教員・職員が一市民として行っている活動もある。その意味で本章において点検・評価した公開講座と一日体験入学は、本研究科及び本学部の地域貢献の一部であることを最初に断っておきたい。

公開講座のテーマは、平成24年度は各プログラムが、平成25年度からは各教育領域がローテーションで担当することになっている。そのテーマは、広く市民の関心と呼ぶように工夫しており、平成24年度は「こころを科学する」、平成25年度は「切り拓く英語の世界」、平成26年度は「身近な物理学から最先端の物質科学へ」と「日本の美学と芸術」であった。担当教員及び参加者数などは表5-1-1のとおりである。

また一日体験入学は、本学部を受験することを希望している高校生への広報活動という意味だけでなく、広く一般社会人にも門戸を開き、社会貢献のひとつとしての意味も持っている。その呼びかけ文には「あなたも、知的エネルギーの渦巻くこの学部独特の熱い雰囲気を経験してみませんか？」とあり、本学部のユニークさを理解してもらうことを第一の目的としている。

一日体験入学の参加者は、まず全員が理系教員と文系教員各1名による「講義」を受講し、その後、複数開講されているセミナーの中から、参加者が1つのセミナーを選んで聴講する。平成24年度には10の教育プログラムのうちから5つのプログラムの教員がセミナーを開講し、平成25年度からは3つの教育領域から各2名の教員がセミナーを開講している。平成24～26年度の実施状況は表5-1-2のとおりである。

(2) 広報活動

広報・出版委員会は、中期目標・中期計画・年度計画にも掲げているとおり、平成24～26年度において、本学部・本研究科所属教員の教育研究活動などに関する情報を、出版物、ホームページなどを通じて積極的に発信してきた。

出版物は、例年どおり、①研究成果及び学位取得者の要旨を掲載する年1回の研究科紀要(3分冊)、年1冊刊行の叢書インテグラレ、②必要な改訂を施した年1回の学部広報誌『無限への挑戦』及び大学院研究科案内、③学部学生が編集を担当する年2回発行の『飛翔』である。

なお、ホームページについては、レイアウト及び項目などの見直しを適宜行い、改善に努めるとともに、最新情報の提供を行っている。

2. 点検・評価

(1) 公開講座及び一日体験入学

1) 効果があがっている事項

公開講座は、社会貢献を主たる目的としており、さらに一日体験入学は受験生への情報提供という意味も併せ持っている。参加者のアンケート結果からは、「専門分野の先生の話が聞けてよかった」、「新しい知見が得られた」、「総合科学部では色々な領域のことが学べるのがわかった」等のポジティブなコメントがあり、総じて好評である。

2) 改善すべき事項

公開講座については、「講義時間が短かった」、「かけ足状態になるのが少し残念だった」とのコメントがあり、講義時間及び回数については検討が必要であろう。

一日体験入学でのアンケート結果から、参加理由の大部分を「教養を得ること」と「総合科学部を知ること」が占めていることから、教養を高めるものと総合科学部を紹介する内容のものをより多く取り入れるプログラムを組む必要がある。

(2) 広報活動

1) 効果があがっている事項

広報誌は、高等学校などに配付するとともに、入試説明会、オープンキャンパスなどで活用され、本学部・本研究科の教育研究活動の広報に寄与している。また叢書インテグラーレは、専門的な内容を平易に表現することを目指した教養書であり、その普及は地域貢献に資するものである。

2) 改善すべき事項

広報活動は、短期的に志願者増加に結びつくものでは必ずしもない。しかしながら、利用者の利便性からも必要な検証を行い、他委員会と連携しながら、必要な情報をより効果的に発信していく必要がある。

3. 今後の方針

公開講座及び一日体験入学については、講義やセミナーを担当する教員に一任している面が多いので、企画そのものの統一性や市民に向けてのアピール度について、より組織的に検討する必要がある。また一日体験入学については、その位置づけについてより細やかな講義を重ねながら、一層充実したものとする必要があるであろう。

研究科長室と連携しながら、出版物、ホームページのPDCAを継続することが大切であろう。紀要や叢書インテグラーレについては、その普及に努め、その価値を広く理解してもらい必要がある。ホームページについては、コンテンツの見直し等を行い、戦略的に活用することが重要になる。

表 5-1-1 公開講座（平成 24～26 年度）

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
テーマ	こころを科学する	切り拓く英語の世界	身近な物理学から 最先端の物質科学へ	日本の美学と芸術
担当教員	坂田 省吾	町田 章	乾 雅 祝	青木 孝夫
	入戸野 宏	山田 純	浴野 稔一	
	浦 光 博	井上 永幸	田中 晋平	
	坂田 桐子	柴田 美紀	戸田 昭彦	
	林 光 緒	谷本 秀康	荻田 典男	
	小川 景子			
	相馬 敏彦			
	清水 裕士			
	岩 永 誠			
杉浦 義典				
受講者数	70	40	50	55
修了者数	52	18	22	46

表 5-1-2 一日体験入学（平成 24～26 年度）

平成 24年度	講義	持続可能な社会と再生可能エネルギー：木質バイオマス普及の試み	佐藤 高晴
		「人に優しい社会」の創生をめざして：広島大学の取組	佐野 真理子
	セミナー	19世紀ロンドンの都市改良	要田 圭治
		演劇から映画へ，映画から演劇へ	千川 哲生
		被災者の心理と行動	岩 永 誠
		脳は外の世界をどのようにして理解するのか	古川 康雄
	水の不思議な性質をミクロに見る～分子動力学シミュレーション	竹田 一彦	
平成 25年度	講義	世界のスポーツ事情	橋原 孝
		いじめの影に潜むもの	岩 永 誠
	セミナー	睡眠と生活リズム	林 光 緒
		音楽哲学へのいざない	上野 仁
		機械学習による画像認識	栗田 多喜夫
		森を守って地球温暖化を抑止する！？	山田 俊弘
		ヨーロッパ統合の光と影	材木 和雄
アジア系アメリカ人の諸相	的場 いづみ		
平成 26年度	講義	生命科学研究と倫理的問題	佐藤 明子
		現代社会と科学研究の不正問題	隠岐 さや香
	セミナー	健康寿命と運動	山崎 昌廣
		「ら抜きことば」と「よろしかったでしょうか」	井口 容子
		走査トンネル顕微鏡で見るナノの世界	浴野 稔一
		水資源をめぐる問題～世界の状況と私達の暮らし～	佐々木 晶子
		自分の人生を記すーエンディングノートとメモリーブック	大池 真知子
情報の並べ方	匹田 篤		

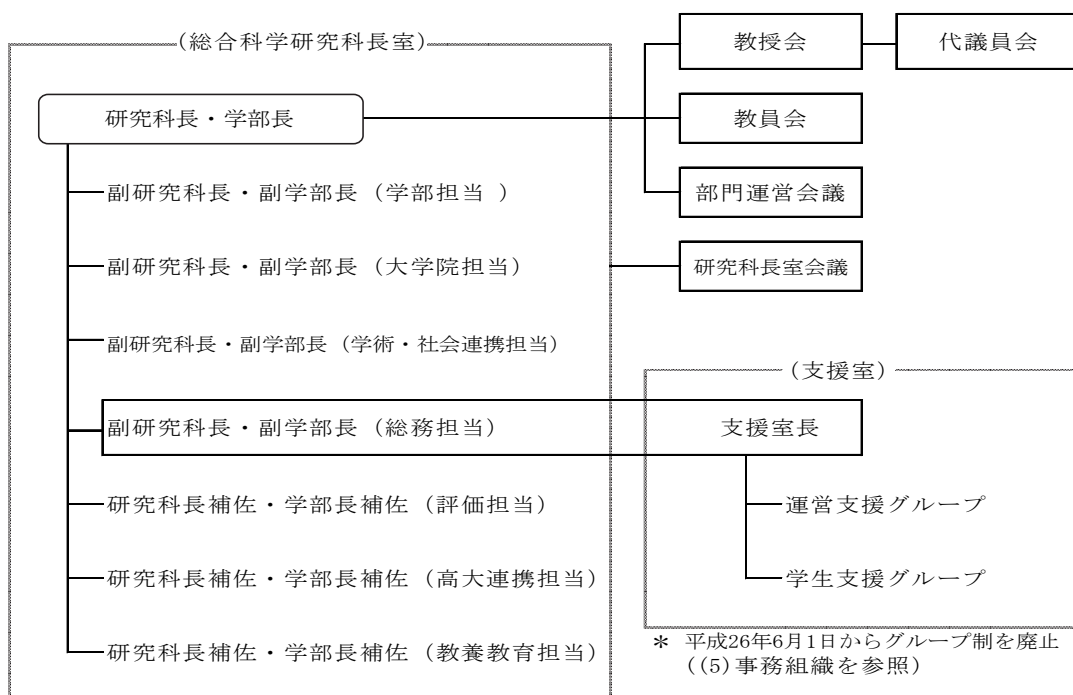
第2節 管理・運営

1. 現状説明

(1) 運営組織

国立大学の法人化に伴い、法人化後は、部局長の権限と責任に基づく迅速かつ確かな組織運営体制を構築するとともに、教員の管理運営に関わる業務を削減し、可能な限り教育活動、研究活動に専念できる新しい運営組織が目指され、現在は下図のようになっている。

図5-2-1 運営組織図（平成24年4月1日～平成27年3月31日）



本研究科では「部局における重要事項について企画立案等を行い、部局長を直接的に支援する組織」（広島大学部局運営規則第6条）として研究科長室を設置している。そのメンバーは「室長である研究科長，副研究科長，研究科長補佐及び研究科長が必要と認めた者で構成」（広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部運営内規第8条）し、その職掌を「広島大学大学院総合科学研究科長室運営細則」において、次のように定めている。

- (1) 長期的な目標，中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- (2) 教授会等の審議に関すること。
- (3) 教育活動，研究活動及び社会貢献活動に関すること。
- (4) 国際交流に関すること。
- (5) 人的資源，物的資源及び財的資源の活用に関すること。

- (6) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (7) 危機管理及び安全衛生管理に関すること。
- (8) 情報ネットワーク及び情報セキュリティーに関すること。
- (9) 教育研究活動等の点検・評価・改善及び公表に関すること。
- (10) 広報及び構成員の意見聴取に関すること。
- (11) その他研究科長室の目的を達成するために必要な業務

研究科長室は、本研究科及び本学部における業務の企画・立案及び執行する役割を担っているため、研究科長室会議を週1回程度開催し、運営などに関する事項を審議・検討している。

(2) 審議機関

広島大学部局運営規則第11条に基づき、広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部運営内規第9条で「教授会は、研究科教授会及び学部教授会とする」と定めるとともに、教授会の運営に関し必要な事項は、次の広島大学大学院総合科学研究科教授会内規及び広島大学総合科学部教授会内規において定めている。

広島大学部局運営規則（抄）

（教授会）

第11条 部局に、審議機関として教授会を置く。

2 （略）

3 教授会は、当該部局における次の事項を審議する。

- (1) 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項
- (2) 教員の人事に関する事項
- (3) 学生の受入れと身分に関する事項
- (4) 学位の授与に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) 研究活動に関する事項
- (7) 社会貢献活動に関する事項
- (8) 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- (9) その他部局長が必要と認めた事項

広島大学大学院総合科学研究科教授会内規（抄）

（審議事項）

第3条 教授会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項
- (2) 教員の人事に関する事項
- (3) 学生の受入れと身分に関する事項

- (4) 学位の授与に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) 研究活動に関する事項
- (7) 社会貢献活動に関する事項
- (8) 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- (9) その他研究科長が必要と認めた事項
(略)

第9条 教授会は、次に掲げる事項の審議を代議員会に付託する。

- (1) 教員の人事に関する事項(専任教員の採用, 昇任及び懲戒に関する事項を除く。)
- (2) 学生の受入れと身分に関する事項(学生の入学及び懲戒に関する事項を除く。)
- (3) 学位の授与に関する事項(博士の学位審査に関する事項を除く。)
- (4) 教育課程に関する事項
- (5) 研究活動に関する事項
- (6) 社会貢献活動に関する事項
- (7) 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- (8) その他研究科長が必要と認めた事項

広島大学大総合科学部教授会内規 (抄)

(審議事項)

第3条 教授会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 長期的な目標, 中期目標・中期計画及び年度計画における教育, 研究及び社会貢献活動に関する事項
- (2) 教員の人事に関する事項
- (3) 学生の受入れ及び身分に関する事項
- (4) 学位の授与に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) 社会貢献活動に関する事項
- (7) 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- (8) その他学部長が必要と認めた事項

各々の教授会又は代議員会においては、審議事項について、月1回程度開催し審議しており、部局の審議機関としての役割を適切に果たしている。

(3) 各種委員会

本研究科・本学部の運営のために表5-2-1に示したような委員会を設けている。
なお、本報告書のかなりの部分は、これらの委員会の点検・評価に基づいている。

(4) 教員組織

広島大学の講座，学科目，部門，研究部門等及び診療科等規則第2条第2項「大学院の研究科に，講座を置く」に基づき，本研究科総合科学専攻に5つの基幹講座（行動科学講座，人間文化研究講座，環境自然科学講座，社会文明研究講座，地域研究講座）と1つの協力講座（情報システム研究講座）を置き，専任教員を配置している。

また，本学部においては，広島大学の講座，学科目，部門，研究部門等及び診療科等規則第2条第1項「学部に，学科目を置く」に基づき，総合科学科に10の学科目（地域文化学科目，社会文化学科目，人間文化学科目，言語文化学科目，行動科学科目，スポーツ科学科目，生命科学科目，数理情報科学科目，総合物理科学科目，自然環境科学科目）を置き，10の主専攻プログラムを設置してきた。平成25年度からは教育プログラムの再編を行い，1プログラムとし，学部教育を行うために，学部併任教員を配置している。

研究科・学部の教員の配置については，各々の教育理念・目標を達成するためには，以前は適切な配置であったが，本学における教員人件費ポイントの2%減を踏まえれば，教員数は減少を迫るばかりである。教員組織の構成が適切か否かの判断は困難であるが，組織の見直しなども含め教員の組織構成を随時検討する必要性が生じている。

(5) 事務組織

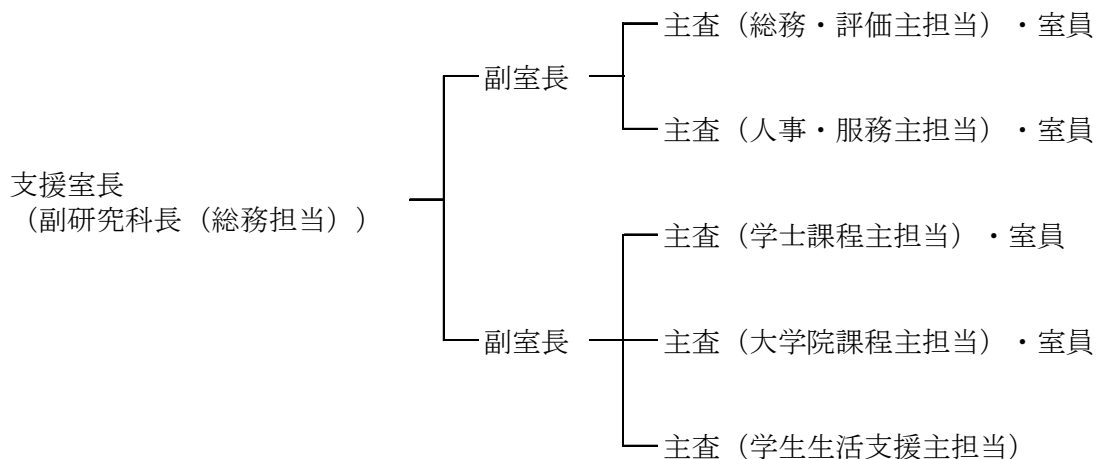
法人化に伴い従来の部局事務室を見直し，部局における重要事項について企画立案及び業務を執行し，部局長を直接的に支援する組織として部局長室（総合科学研究科長室）を置き，また，部局の運営を円滑に行うための教育研究学生等支援組織として支援室（総合科学研究科支援室）を配置した。

なお，事務組織は，業務の効率的な遂行や人件費削減等の観点から随時見直されている。変更経緯は次のとおりである。

- 平成18年4月1日 教育研究学生支援室が「支援室」に名称変更
- 平成21年4月1日 副研究科長（総務担当）は，支援室長をもって充てるとされた。
部局長支援グループと教育研究活動支援グループを見直し，「運営支援グループ」に名称変更
- 平成22年4月1日 学生支援グループの職員が教育室所属から総合科学研究科所属に変更
- 平成26年6月1日 運営支援体制の見直しにより，東広島地区運営支援部総合科学研究科支援室に名称変更
運営支援体制の再編に伴い，財務関係業務を「共回事務室」に集約

平成27年3月31日現在の支援室の構成は，図5-2-2のとおりである。

図 5-2-2



(6) 予算・決算

本研究科の予算については、毎年度、予算配分要項（財務委員会，研究科長室会議で審議）を定め，教育経費，研究経費，教育研究経費，非常勤教員人件費，非常勤職員人件費（平成 25，26 年度は予算措置していない。），管理的経費により編成を行っている。

学士課程基盤教育費は，教員現員数に基づき各講座へ比例配分，教育研究基盤経費（大学院積算分）は，大学院生の海外発表支援経費として一部控除後，主指導教員へ配分し，学生の指導環境を整えている。教育研究基盤経費（研究費積算分）は，実験系，非実験系の積算単価どおりに教員へ配分し，教員の研究環境などの整備を行っている。

また，研究科独自プロジェクト（21 世紀科学プロジェクト群，総合科学推進プロジェクト）については，各年度とも部局長裁量経費から措置を行い，新たに発展するプロジェクトの支援を行っている。さらに，文理融合型リサーチマネージャー養成プログラムについては，文部科学省の支援期間終了後（平成 21 年度）も，部局長裁量経費で運営費を措置し，支援を行っている。

なお，経費の執行については，毎年度各経理単位の責任者が，責任をもって，単年度で執行したり，総枠予算の利点を活かしたりして，複数年の計画的執行を行っている（詳細については章末の表 5-2-2 を参照のこと）。

2. 点検・評価

役職員などは本章末の表 5-2-3 を参照されたいが，本研究科・本学部の全教職員は，全学の規則に従い運営のために必要な組織を整備し，絶えざる点検・評価活動を通じて，自己改革を行ってきた。例えば研究科長室会議は，平成 24 年度 37 回，平成 25 年度 44 回，平成 26 年度は 47 回と精力的に企画・立案に努めてきた。また，教授会構成員のコンセンサスを得るべく，研究科教授会は毎年 20 回以上，学部教授会も 10 回以上開催するなど丁寧な審議を続けてきた（表 5-2-4 を参照のこと）。本研究科・本学部独自のファ

カルティ・ディベロプメント（FD）も積極的に開催しており、教員の知見を深めるとともに、改革のための意識を高めた（表 5-2-5）。こうした点検活動の結果として、平成 25 年度入学生から、10 教育プログラムを改めて、1 教育プログラムに変更している。

3. 今後の方針・課題など

大学改革の促進、スーパーグローバル大学創成事業（SGU 事業）及び研究大学強化促進事業（RU 事業）の遂行に伴い、部局レベルでも大きな変革が求められる可能性が高い。今後も、常に状況を的確に把握し、研究科長室会議及び教授会で適切な対応を考える必要がある。

このような時局に当たり、部局構成員の意識を高めるという点から、FD 活動がこれまで以上に重要になる。教員の FD への出席率は必ずしも高いとは言えないが、今後は、教員一人ひとりが部局の発展のために自覚的に取り組む必要があり、FD の内容を一層吟味するとともに、全構成員が参加するような取組が必要となろう。

平成24年度

研究科代議員会

研究科長	吉田光演
副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
副研究科長(大学院担当)	山崎岳
副研究科長(学部担当)	和田正信
副研究科長(総務担当)	嶋市敬
研究科長補佐	吉村慎太郎
研究科長補佐	水羽信男
研究科長補佐(部門長)	畠中憲之
人間科学部門	高橋憲雄
環境科学部門	於保幸正
文明科学部門(講座主任)	三木直大
行動科学講座	古川康雄
人間文化研究講座	安仁屋宗正
環境自然科学講座	開発一郎
情報システム研究講座	中村純
社会文明研究講座	秋葉節夫
地域研究講座(委員長)	長田浩彰
人事委員会委員長	宇田川眞行
教務委員会委員長	山崎岳
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹昭
広報・出版委員会委員長	高谷紀夫

人事特別委員会

委員長(副研究科長)	岩永誠
委員(副研究科長)	山崎岳
(副研究科長)	和田正信
(副研究科長)	嶋市敬
人事委員会委員長	宇田川眞行
人事委員会委員(教授会選出)	坂田省吾
人事委員会委員(教授会選出)	佐藤正樹
人事委員会委員(教授会選出)	戸田昭彦
人事委員会委員(教授会選出)	三木直大

人事委員会

委員長(2次選挙)	宇田川眞行
委員(教授会選出)	坂田省吾
(教授会選出)	佐藤正樹
(教授会選出)	戸田昭彦
(教授会選出)	三木直大
教務委員会委員長	山崎岳
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹昭
プログラム委員会委員長	和田正信
行動科学講座	山崎昌廣
人間文化研究講座	青木孝夫
環境自然科学講座	開発一郎
情報システム研究講座	西村浩二
社会文明研究講座	早瀬光司
地域研究講座	安野正明

評価委員会

委員長	水羽信男
委員 人間科学部門(部門長)	高橋憲雄
人間科学部門	長谷川博
環境科学部門(部門長)	於保幸正
環境科学部門	近堂徹
文明科学部門(部門長)	三木直大
文明科学部門	青木利夫
研究科長補佐	水羽信男
人事委員会選出	山崎昌廣
教務委員会選出	船瀬広三
21世紀科学プロジェクト委員会選出	平手友彦
プログラム委員会選出	橋原孝博
支援室長	嶋市敬

研究倫理委員会

委員長	橋原孝博
委員 人間科学部門	堀江剛
環境科学部門	日下部眞一
文明科学部門	佐藤正樹
研究科長が必要と認めた者	杉浦義典

財務委員会

委員長	市川浩
委員 副研究科長(学術・社会連携)	岩永誠
行動科学講座	磨井祥夫
人間文化研究講座	谷本秀康
環境自然科学講座	戸田昭彦
情報システム研究講座	岸場清悟
社会文明研究講座	李東碩
地域研究講座	布川弘

広報・出版委員会

委員長	高谷紀夫
委員 人間科学部門	佐藤明子
人間科学部門	山崎昌廣
人間科学部門	河本真理
環境科学部門	小野寺眞一
環境科学部門	鈴木俊哉
環境科学部門	フंक, カロリン
文明科学部門	平手友彦
文明科学部門	崔眞碩
文明科学部門	隠岐さや香
数理情報科学プログラム	市原直幸

教務委員会

委員長	山崎 岳
委員	人間科学部門長 高橋 憲雄
	環境科学部門長 於保 幸正
	文明科学部門長 三木 直大
	生命科学研究領域主任 浮穴 和義
	人間行動研究領域主任 坂田 省吾
	身体運動科学研究領域主任 船瀬 広三
	言語研究領域主任 井上 永幸
	人間存在研究領域主任 青木 孝夫
	自然環境研究領域主任 奥田 敏統
	総合物理研究領域主任 東谷 誠二
	情報システム環境研究領域主任 稲垣 知宏
	社会環境研究領域主任 西村 雄郎
	文明史基礎研究領域主任 武田 紀子
	地域研究領域主任 田中 暁
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長 佐竹 昭

国際交流委員会

委員長	坂田 省吾
委員	教務委員会選出 坂田 省吾
	教務委員会選出 武田 紀子
	プログラム委員会選出 浅野 敏久
	プログラム委員会選出 海堀 正博
	留学生担当教員 河本 尚枝
	広島大学留学交流プログラム部会委員 小川 泰生

就職委員会

委員長	海堀 正博
委員	人間科学部門 坂田 桐子
	環境科学部門 佐々木 宏
	文明科学部門 西 佳代
	地域文化プログラム フンク, カロリン
	社会文化プログラム 町田 宗鳳
	人間文化プログラム 辻 学
	言語文化プログラム 谷本 秀康
	行動科学プログラム 坂田 桐子
	スポーツ科学プログラム 船瀬 広三
	生命科学プログラム 浮穴 和義
	数理情報科学プログラム 今野 均
	総合物理プログラム 畠中 憲之
	自然環境科学プログラム 山田 俊弘

研究科入学試験委員会

委員長	浴野 稔一
委員	生命科学研究領域 山崎 岳
	人間行動研究領域 入戸野 宏
	身体運動科学研究領域 関矢 寛史
	言語研究領域 町田 章
	人間存在研究領域 桑島 秀樹
	自然環境研究領域 佐藤 高晴
	総合物理研究領域 荻田 典男
	情報システム環境研究領域 田島 浩一
	社会環境研究領域 山崎 修嗣
	文明史基礎研究領域 長坂 格
	地域研究領域 荒見 泰史
	委員長推薦 佐竹 昭

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長 (研究科長)	吉田 光演
委員 (副研究科長(大学院), 教務委員長)	山崎 岳
(部門長)	
人間科学部門	高橋 憲雄
環境科学部門	於保 幸正
文明科学部門	三木 直大
入学試験委員会 (委員長)	浴野 稔一
入試委員会委員	山崎 岳
生命科学研究領域	入戸野 宏
人間行動研究領域	関矢 寛史
身体運動科学研究領域	町田 章
言語研究領域	桑島 秀樹
人間存在研究領域	佐藤 高晴
自然環境研究領域	荻田 典男
総合物理研究領域	田島 浩一
情報システム環境研究領域	山崎 修嗣
社会環境研究領域	長坂 格
文明史基礎研究領域	荒見 泰史
地域研究領域	佐竹 昭
委員長推薦	

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長	佐竹 昭
委員 (副研究科長(大学院), 教務委員長)	山崎 岳
言語と情報研究プロジェクト	安仁屋 宗正
リスク研究プロジェクト	堀江 剛
文明と自然研究プロジェクト	佐竹 昭
資源エネルギー研究プロジェクト	佐藤 高晴
平和科学研究プロジェクト	布川 弘
教養教育研究開発プロジェクト	平手 友彦

リサーチマネージャー養成プログラム運営委員会

委員長	布川 弘
委員	安仁屋 宗正
	岩永 誠
	佐竹 昭
	戸田 昭彦
	中村 純
	堀江 剛
	町田 宗鳳
	山崎 岳
	吉田 光演
	青木 利夫
	浅野 敏久
	稲垣 知宏
	小野寺 真一
	佐藤 高晴

プログラム委員会

委員長	和田 正 信
委員	浅野 敏 久
地域文化プログラム	要田 圭 治
地域文化プログラム	西村 雄 郎
社会文化プログラム	中坂 恵美子
社会文化プログラム	堀江 剛
人間文化プログラム	千川 哲 生
人間文化プログラム	山田 純
言語文化プログラム	柴田 美 紀
言語文化プログラム	林 光 緒
行動科学プログラム	岩田 賢 司
行動科学プログラム	橋原 孝 博
スポーツ科学プログラム	関矢 寛 史
スポーツ科学プログラム	石田 敦 彦
生命科学プログラム	斎藤 祐見子
生命科学プログラム	栗田 多喜夫
数理情報科学プログラム	飯間 信
数理情報科学プログラム	石坂 智
総合物理プログラム	宗尻 修 治
総合物理プログラム	久我 ゆかり
自然環境科学プログラム	海堀 正 博
自然環境科学プログラム	

※上段はプログラム主任

学部入学試験合格者判定委員会

委員長 (学部長)	吉田 光 演
委員 (副学部長(学部), プログラム委員長)	和田 正 信
地域文化プログラム主任	浅野 敏 久
社会文化プログラム主任	西村 雄 郎
人間文化プログラム主任	堀江 剛
言語文化プログラム主任	山田 純
行動科学プログラム主任	林 光 緒
スポーツ科学プログラム主任	橋原 孝 博
生命科学プログラム主任	石田 敦 彦
数理情報科学プログラム主任	栗田 多喜夫
総合物理プログラム主任	石坂 智
自然環境科学プログラム主任	久我 ゆかり
入学試験委員会委員長	岡本 勝
委員 地域文化プログラム	的場いづみ
委員 社会文化プログラム	材木 和 雄
委員 人間文化プログラム	島谷 謙
委員 言語文化プログラム	盧 濤
委員 行動科学プログラム	浦 光 博
委員 スポーツ科学プログラム	長谷川 博
委員 生命科学プログラム	河原 明
委員 数理情報科学プログラム	島 唯 史
委員 総合物理プログラム	田口 健
委員 自然環境科学プログラム	隠岐 さや香

学部入学試験委員会

委員長	岡本 勝
委員	的場いづみ
地域文化プログラム	材木 和 雄
社会文化プログラム	島谷 謙
人間文化プログラム	盧 濤
言語文化プログラム	浦 光 博
行動科学プログラム	長谷川 博
スポーツ科学プログラム	河原 明
生命科学プログラム	島 唯 史
数理情報科学プログラム	田口 健
総合物理プログラム	隠岐 さや香
自然環境科学プログラム	

学部卒業生判定委員会

委員長 (学部長)	吉田 光 演
委員 (副学部長(学部), プログラム委員長)	和田 正 信
地域文化プログラム主任	浅野 敏 久
社会文化プログラム主任	西村 雄 郎
人間文化プログラム主任	堀江 剛
言語文化プログラム主任	山田 純
行動科学プログラム主任	林 光 緒
スポーツ科学プログラム主任	橋原 孝 博
生命科学プログラム主任	石田 敦 彦
数理情報科学プログラム主任	栗田 多喜夫
総合物理プログラム主任	石坂 智
自然環境科学プログラム主任	久我 ゆかり

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩 永 誠
	行動科学講座	石原 康 宏
	環境自然科学講座選出	梶原 行 夫
	放射線取扱副主任者	櫻井 直 樹
	放射線障害防止管理者	嶋 市 敬

安全衛生委員会

委員長	平	山	恭	之
委員	杉	浦	義	典
	根	平	達	夫
	桑	島	秀	樹
	田	口		健
	平	山	恭	之
	河	本	尚	枝
	千	川	哲	生
	森	本	康	彦
	山	崎		岳
	竹	田	一	彦

平成25年度

研究科代議員会

研究科長	吉田光演
副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
副研究科長(大学院担当)	山崎岳
副研究科長(学部担当)	和田正信
副研究科長(総務担当)	木船直人
研究科長補佐	吉村慎太郎
研究科長補佐	水羽信男
研究科長補佐 (部門長)	畠中憲之
人間科学部門	高橋憲雄
環境科学部門	畠中憲之
文明科学部門 (講座主任)	三木直大
行動科学講座	古川康雄
人間文化研究講座	安仁屋宗正
環境自然科学講座	開発一郎
情報システム研究講座	中村純
社会文明研究講座	秋葉節夫
地域研究講座 (委員長)	長田浩彰
人事委員会委員長	宇田川眞行
教務委員会委員長	山崎岳
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹昭
広報・出版委員会委員長	高谷紀夫

人事特別委員会

委員長	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
委員	副研究科長(大学院担当)	山崎岳
	副研究科長(学部担当)	和田正信
	副研究科長(総務担当)	木船直人
	人事委員会委員長	宇田川眞行
	人事委員会委員(教授会選出)	坂田省吾
	人事委員会委員(教授会選出)	佐藤正樹
	人事委員会委員(教授会選出)	戸田昭彦
	人事委員会委員(教授会選出)	三木直大

人事委員会

委員長	(2次選挙)	宇田川眞行
委員	(教授会選出)	坂田省吾
	(教授会選出)	佐藤正樹
	(教授会選出)	戸田昭彦
	(教授会選出)	三木直大
	教務委員会委員長	山崎岳
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹昭
	教育領域委員会委員長	和田正信
	行動科学講座	山崎昌廣
	人間文化研究講座	青木孝夫
	環境自然科学講座	開発一郎
	情報システム研究講座	西村浩二
	社会文明研究講座	町田宗鳳
	地域研究講座	岡本勝

評価委員会

委員長	水羽信男	
委員	人間科学部門 (部門長)	高橋憲雄
	人間科学部門	長谷川博
	環境科学部門 (部門長)	畠中憲之
	環境科学部門	近堂徹
	文明科学部門 (部門長)	三木直大
	文明科学部門	青木利夫
	研究科長補佐	水羽信男
	人事委員会選出	山崎昌廣
	教務委員会選出	船瀬広三
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	平手友彦
	教育領域委員会選出	材木和雄
	支援室長	木船直人

研究倫理委員会

委員長	山崎昌廣	
委員	人間科学部門	堀江剛
	環境科学部門	山田俊弘
	文明科学部門	崔真碩
	研究科長が必要と認めた者	小川景子

財務委員会

委員長	市川浩	
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
	行動科学講座	浮穴和義
	人間文化研究講座	河本真理
	環境自然科学講座	戸田昭彦
	情報システム研究講座	長登康
	社会文明研究講座	李東碩
	地域研究講座	布川弘

広報・出版委員会

委員長	高谷紀夫	
委員	人間科学部門	佐藤明子
	人間科学部門	鎌田勇
	人間科学部門	坂田桐子
	環境科学部門	小野寺真一
	環境科学部門	鈴木俊哉
	環境科学部門	フंक, カロリン
	文明科学部門	平手友彦
	文明科学部門	城戸光世
	文明科学部門	シュラルプ, ハンス ミヤエル

教務委員会

委員長	山崎 岳
委員	人間科学部門長 高橋 憲雄
	環境科学部門長 畠中 憲之
	文明科学部門長 三木 直大
	生命科学研究領域 石田 敦彦
	人間行動研究領域 坂田 省吾
	身体運動科学研究領域 船瀬 広三
	言語研究領域 小川 泰生
	人間存在研究領域 青木 孝夫
	自然環境研究領域 奥田 敏統
	総合物理研究領域 東谷 誠二
	情報システム環境研究領域 岩沢 和男
	社会環境研究領域 西村 雄郎
	文明史基礎研究領域 大池 真知子
	地域研究領域 田中 暁
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長 佐竹 昭

国際交流委員会

委員長	坂田 省吾
委員	教務委員会選出 坂田 省吾
	教務委員会選出 大池 真知子
	教育領域委員会選出 フンク, カロリン
	教育領域委員会選出 向谷 博明
	留学生担当教員 河本 尚枝
	広島大学留学交流プログラム部会委員 小川 泰生

研究科入学試験委員会

委員長	浴野 稔一
委員	生命科学研究領域 山崎 岳
	人間行動研究領域 入戸野 宏
	身体運動科学研究領域 山崎 昌廣
	言語研究領域 町田 章
	人間存在研究領域 桑島 秀樹
	自然環境研究領域 佐藤 高晴
	総合物理研究領域 田中 晋平
	情報システム環境研究領域 田島 浩一
	社会環境研究領域 浅野 敏久
	文明史基礎研究領域 長坂 格
	地域研究領域 田原 光広
	委員長推薦 佐竹 昭

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	研究科長	吉田 光演
委員	副研究科長(大学院担当)	山崎 岳
	人間科学部門(部門長)	高橋 憲雄
	環境科学部門(部門長)	畠中 憲之
	文明科学部門(部門長)	三木 直大
	入学試験委員会委員長	浴野 稔一
入試委員会委員	生命科学研究領域	山崎 岳
	人間行動研究領域	入戸野 宏
	身体運動科学研究領域	山崎 昌廣
	言語研究領域	町田 章
	人間存在研究領域	桑島 秀樹
	自然環境研究領域	佐藤 高晴
	総合物理研究領域	田中 晋平
	情報システム環境研究領域	田島 浩一
	社会環境研究領域	浅野 敏久
	文明史基礎研究領域	長坂 格
	地域研究領域	田原 光広
	委員長推薦	佐竹 昭

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長	佐竹 昭
委員	副研究科長(大学院担当) 山崎 岳
	言語と情報研究プロジェクト 安仁屋 宗正
	リスク研究プロジェクト 堀江 剛
	文明と自然研究プロジェクト 佐竹 昭
	資源エネルギー研究プロジェクト 佐藤 高晴
	平和科学研究プロジェクト 布川 弘
	教養教育研究開発プロジェクト 平手 友彦

リサーチマネージャー養成プログラム運営委員会

委員長	布川 弘
委員	安仁屋 宗正
	岩永 誠
	佐竹 昭
	戸田 昭彦
	中村 純
	堀江 剛
	町田 宗鳳
	山崎 岳
	吉田 光演
	青木 利夫
	浅野 敏久
	稲垣 知宏
	小野寺 真一
	佐藤 高晴

教育領域委員会

委員長		和田 正 信
委員	人間探求領域	◎ 船瀬 広 三
	人間探求領域	林 光 緒
	人間探求領域	堀 江 剛
	人間探求領域	井 口 容 子
	自然探求領域	◎ 海 堀 正 博
	自然探求領域	荻 田 典 男
	自然探求領域	斎 藤 祐 見 子
	自然探求領域	向 谷 博 明
	社会探究領域	◎ 長 田 浩 彰
	社会探究領域	要 田 圭 治
	社会探究領域	フンク, カロリン
	社会探究領域	材 木 和 雄

※◎は、教育領域主任

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山 崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩 永 誠
	行動科学講座選出(放射線取扱副主任者)	石 原 康 宏
	環境自然科学講座選出(放射線取扱主任者)	梶 原 行 夫
	放射線障害防止管理者	木 船 直 人

安全衛生委員会

委員長	研究科長	吉 田 光 演
副委員長		平 山 恭 之
委員		杉 浦 義 典
		根 平 達 夫
		桑 島 秀 樹
		田 口 健
		河 本 尚 枝
		丸 田 孝 志
		森 本 康 彦
		山 崎 岳
		竹 田 一 彦
		上 西 幸 治

学部入学試験委員会

委員長		林 光 緒
委員	人間探求領域	長 谷 川 博
	人間探求領域	石 川 雅 隆
	人間探求領域	島 谷 謙
	自然探求領域	河 原 明
	自然探求領域	田 口 健
	自然探求領域	竹 田 一 彦
	社会探究領域	青 木 利 夫
	社会探究領域	長 坂 格
	社会探究領域	隠 岐 さ や 香

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	吉 田 光 演
委員	副学部長(学部担当)	和 田 正 信
	入学試験委員会委員長	林 光 緒

学部卒業生判定委員会

委員長	(学部長)	吉 田 光 演
委員	副学部長(学部担当)	和 田 正 信
	人間探求領域(教育領域主任)	船 瀬 広 三
	自然探求領域(教育領域主任)	海 堀 正 博
	社会探究領域(教育領域主任)	長 田 浩 彰

平成26年度

研究科代議員会

研究科長	吉田光演
副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
副研究科長(大学院担当)	山崎岳
副研究科長(学部担当)	吉村慎太郎
副研究科長(総務担当)	木船直人
研究科長補佐(教養教育担当)	乾雅祝
研究科長補佐(評価担当)	布川弘
研究科長補佐(高大連携担当)	荻田典男
(部門長)	
人間科学部門	坂田省吾
環境科学部門	畠中憲之
文明科学部門	高谷紀夫
(講座主任)	
行動科学講座	坂田桐子
人間文化研究講座	高橋憲雄
環境自然科学講座	戸田昭彦
情報システム研究講座	相原玲二
社会文明研究講座	材木和雄
地域研究講座	要田圭治
(委員長)	
人事委員会委員長	樫原修
教務委員会委員長	山崎岳
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	堀江剛
広報・出版委員会委員長	辻学

人事特別委員会

委員長	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
委員	副研究科長(大学院担当)	山崎岳
	副研究科長(学部担当)	吉村慎太郎
	副研究科長(総務担当)	木船直人
	人事委員会委員長	樫原修
	人事委員会委員(教授会選出)	青木孝夫
	人事委員会委員(教授会選出)	海堀正博
	人事委員会委員(教授会選出)	坂田省吾
	人事委員会委員(教授会選出)	三木直大

人事委員会

委員長	(教授会選出)	樫原修
委員	(教授会選出)	青木孝夫
	(教授会選出)	海堀正博
	(教授会選出)	坂田省吾
	(教授会選出)	三木直大
	行動科学講座	古川康雄
	人間文化研究講座	安仁屋宗正
	環境自然科学講座	浴野稔一
	情報システム研究講座	西村浩二
	社会文明研究講座	町田宗鳳
	地域研究講座	岡本勝
	教務委員会委員長	山崎岳
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長	堀江剛
	教育領域委員会委員長	吉村慎太郎

評価委員会

委員長	研究科長補佐(評価担当)	布川弘
委員	人間科学部門長	坂田省吾
	環境科学部門長	畠中憲之
	文明科学部門長	高谷紀夫
	人間科学部門	柴田美紀
	環境科学部門	石坂智
	文明科学部門	荒見泰史
	教務委員会選出	石田敦彦
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	浅野敏久
	教育領域委員会選出	井口容子
	人事委員会選出	古川康雄
	副研究科長(総務担当)	木船直人

研究倫理委員会

委員長		山崎昌廣
委員	人間科学部門	堀江剛
	環境科学部門	山田俊弘
	文明科学部門	崔真碩
	細則 第3条(3)	小川景子

財務委員会

委員長		水羽信男
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永誠
	行動科学講座	浮穴和義
	人間文化研究講座	桑島秀樹
	環境自然科学講座	小野寺真一
	情報システム研究講座	長登康
	社会文明研究講座	平手友彦
	地域研究講座	丸田孝志

広報・出版委員会

委員長		辻学
委員	人間科学部門	和田正信
	人間科学部門	鎌田勇
	人間科学部門	坂田桐子
	環境科学部門	宗尻修治
	環境科学部門	小澤久
	環境科学部門	匹田篤格
	文明科学部門	長坂格
	文明科学部門	城戸光世
	文明科学部門	シユラルグ, ハンス・ヒヤエル

教務委員会

委員長	山崎 岳
委員	人間科学部門長 坂田 省吾
	環境科学部門長 畠中 憲之
	文明科学部門長 高谷 紀夫
	生命科学研究領域 石田 敦彦
	人間行動研究領域 坂田 桐子
	身体運動科学研究領域 山崎 昌廣
	言語研究領域 小川 泰生
	人間存在研究領域 桑島 秀樹
	自然環境研究領域 佐藤 高晴
	総合物理研究領域 田口 健
	情報システム環境研究領域 岩沢 和男
	社会環境研究領域 フンク, カロリン・E. H.
	文明史基礎研究領域 大池 真知子
	地域研究領域 佐竹 昭
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長 堀江 剛

国際交流委員会

委員長	荒見 泰史
委員	教務委員会選出 大池 真知子
	教務委員会選出 坂田 桐子
	教育領域委員会選出 フンク, カロリン・E. H.
	教育領域委員会選出 向谷 博明
	留学生担当教員 河本 尚枝
	広島大学留学交流プログラム部会委員 小川 泰生

研究科入学試験委員会

委員長	西村 雄郎
委員	生命科学研究領域 山崎 岳
	人間行動研究領域 小川 景子
	身体運動科学研究領域 山崎 昌廣
	言語研究領域 町田 章
	人間存在研究領域 青木 孝夫
	自然環境研究領域 奥田 敏統
	総合物理研究領域 田中 晋平
	情報システム環境研究領域 岸場 清悟
	社会環境研究領域 浅野 敏久
	文明史基礎研究領域 青木 利夫
	地域研究領域 田原 光広

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	研究科長	吉田 光演
委員	副研究科長(大学院担当)	山崎 岳
	教務委員会委員長	山崎 岳
	人間科学部門長	坂田 省吾
	環境科学部門長	畠中 憲之
	文明科学部門長	高谷 紀夫
	入学試験委員会委員長	西村 雄郎
	入学試験委員会委員	山崎 岳
	入学試験委員会委員	小川 景子
	入学試験委員会委員	山崎 昌廣
	入学試験委員会委員	町田 章
	入学試験委員会委員	青木 孝夫
	入学試験委員会委員	奥田 敏統
	入学試験委員会委員	田中 晋平
	入学試験委員会委員	岸場 清悟
	入学試験委員会委員	浅野 敏久
	入学試験委員会委員	青木 利夫
	入学試験委員会委員	田原 光広

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長	堀江 剛
委員	副研究科長(大学院担当) 山崎 岳
	教務委員会委員長 山崎 岳
	言語と情報研究プロジェクト 安仁屋 宗正
	リスク研究プロジェクト 堀江 剛
	文明と自然研究プロジェクト 浅野 敏久
	資源エネルギー研究プロジェクト 佐藤 高晴
	平和科学研究プロジェクト 布川 弘
	教養教育研究開発プロジェクト 平手 友彦

リサーチマネージャー養成プログラム運営委員会

委員長	戸田 昭彦
委員	安仁屋 宗正
	浅野 敏久
	岩永 誠
	小野寺 真一
	佐竹 昭
	中村 純
	布川 弘
	堀江 剛
	町田 宗鳳
	山崎 岳
	吉田 光演
	青木 利夫
	稲垣 知宏
	佐藤 高晴
	匹田 篤

教育領域委員会

委員長	副学部長(学部担当)	吉村 慎太郎
副委員長	人間探究領域 教育領域主任	船瀬 広三
副委員長	自然探究領域 教育領域主任	海堀 正博
副委員長	社会探究領域 教育領域主任	長田 浩彰
委員	人間探究領域	入戸野 宏
	人間探究領域	堀江 剛
	人間探究領域	井口 容子
	自然探究領域	東谷 誠二
	自然探究領域	斎藤 祐見子
	自然探究領域	向谷 博明
	社会探究領域	平手 友彦
	社会探究領域	フック, カロリン・E. H.
	社会探究領域	佐々木 宏

学部入学試験委員会

委員長		久我 ゆかり
委員	人間探究領域	船瀬 広三
	人間探究領域	石川 雅隆
	人間探究領域	高橋 憲雄
	自然探究領域	森本 康彦
	自然探究領域	石坂 智
	自然探究領域	竹田 一彦
	社会探究領域	青木 利夫
	社会探究領域	長坂 格
	社会探究領域	匹田 篤

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	吉田 光演
委員	副学部長(学部担当)	吉村 慎太郎
	入学試験委員会委員長	久我 ゆかり

学部卒業者判定委員会

委員長	学部長	吉田 光演
委員	副学部長(学部担当)	吉村 慎太郎
	人間探究領域 教育領域主任	船瀬 広三
	自然探究領域 教育領域主任	海堀 正博
	社会探究領域 教育領域主任	長田 浩彰

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	岩永 誠
	行動科学講座選出(放射線取扱副主任者)	石原 康宏
	環境自然科学講座選出(放射線取扱主任者)	梶原 行夫
	放射線障害防止管理者	木船 直人

安全衛生委員会

委員長	研究科長	吉田 光演
委員	衛生管理者	山田 俊弘
	衛生管理者	橋原 孝博
	衛生管理者	根平 達夫
	薬品管理システム管理者	桑島 秀樹
	衛生管理者	田口 健
	衛生管理者	河本 尚枝
	衛生管理者	的場 いづみ
	衛生管理者	澁谷 一博
	薬品管理システム管理者	山崎 岳
	薬品管理システム管理者	竹田 一彦
	内規 第3条(5)	上西 幸治

表5-2-2 予算および決算

当初予算額（平成24年度～平成26年度）

*繰越・調整額，追加配分・振替額は含まない。

(単位：円)

目的別	補助科目	予算科目名	26年度予算額	25年度予算額	24年度予算額
教育経費	基盤教育費	学士課程基盤教育費	8,580,000	8,580,000	8,580,000
		学士課程基盤教育費（研究生分）	68,000	0	53,000
		学士課程基盤教育費（科目等履修生分）	159,000	82,000	187,000
		学士課程基盤教育費（留学生分）	80,000	40,000	80,000
	教育特別経費	新入生刈エンテーション経費	300,000	1,354,000	1,399,000
		入学式・学位記授与式経費	174,000	123,000	126,000
		就職関係経費	414,000	439,000	605,000
		学生支援関係経費	627,000	115,000	100,000
		教務関係特別経費	1,047,000	724,000	774,000
		講師等経費（旅費）	828,000	955,000	764,000
		入学試験経費	209,000	214,000	218,000
		入学試験経費（大学院）	441,000	461,000	461,000
		公開講座実施経費	0	0	40,000
		特別経費	0	0	43,065,000
	裁量経費	部局長裁量経費（教育）	7,731,000	4,147,000	6,023,000
(小計)		20,658,000	17,234,000	62,475,000	
研究経費	基盤研究費	教育研究基盤経費（研究費積算分）	48,310,000	49,120,000	50,740,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分）	31,680,000	34,920,000	33,930,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分）（研究生）	386,000	230,000	447,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分）（科目等履修生）	14,000	14,000	14,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分）（留学生）	2,950,000	3,310,000	2,810,000
	研究特別経費	アウトプット施設等経費	1,674,000	2,250,000	1,478,000
	裁量経費	部局長裁量経費（研究）	785,000	6,216,000	5,200,000
(小計)		85,799,000	96,060,000	94,619,000	
教育研究経費	教育研究経費	広報関係経費	6,247,000	3,750,000	3,850,000
		点検・評価関係経費	0	360,000	360,000
		安全管理関係経費	132,000	150,000	148,000
(小計)		6,379,000	4,260,000	4,358,000	
計		112,836,000	117,554,000	161,452,000	

(単位：円)

目的別	補助科目	予算科目名	26年度予算額	25年度予算額	24年度予算額
非常勤教員 人件費	非常勤講師	非常勤講師	3,450,000	6,618,000	3,179,000
	TA(ティーチングアシスタント)	TA(ティーチングアシスタント)	2,831,000	2,739,000	3,008,000
	RA(リサーチアシスタント)	RA(リサーチアシスタント)	1,107,000	1,142,000	1,441,000
	(小計)		7,388,000	10,499,000	7,628,000
非常勤職員 人件費	技能補佐員(時間給)	技能補佐員(時間給)	0	0	407,000
	(小計)		0	0	407,000
管理的経費	消耗品費	消耗品費	1,912,000	3,479,000	3,246,000
		定期刊行物・消耗図書	169,000	263,000	742,000
	備品費	備品費	142,000	221,000	465,000
		国内旅費	410,000	518,000	650,000
	旅費交通費	交通費	26,000	132,000	603,000
		運搬費	1,000	18,000	100,000
	賃借料	複写機借上	113,000	114,000	230,000
		その他賃借料	1,015,000	762,000	1,215,000
	車両燃料費	車両燃料費	33,000	56,000	55,000
	福利厚生費	福利厚生費	0	293,000	293,000
	保守費	複写機保守費	1,026,000	1,508,000	2,578,000
		建物・施設保守費	26,000	229,000	964,000
		設備・備品等保守	46,000	233,000	1,669,000
	修繕費	備品修繕費	144,000	393,000	455,000
		その他修繕費	387,000	581,000	455,000
	諸会費	諸会費	6,000	6,000	10,000
	報酬・委託・手数料	手数料	30,000	100,000	0
	雑費	各種業務委託費	875,000	1,069,000	899,000
		環境整備費	686,000	1,311,000	1,084,000
		放送受信料	156,000	139,000	230,000
		その他雑費	13,000	10,000	0
	裁量経費	部局長裁量経費(管理)	0	0	1,686,000
(小計)		7,216,000	11,435,000	17,629,000	
計			14,604,000	21,934,000	25,664,000
総合計			127,440,000	139,488,000	187,116,000

【21世紀科学プロジェクト・総合科学推進プロジェクト】

(単位：円)

プロジェクト名 (一部略あり)	26年度予算額	25年度予算額	24年度予算額
【21】言語と情報の総合科学	540,000	540,000	540,000
【21】地域の自然・歴史・文化	720,000	720,000	720,000
【21】リスクの総合科学的研究	440,000	470,000	600,000
【21】資源エネルギー問題	720,000	697,000	800,000
【21】ヒロシマの復興	720,000	720,000	720,000
【21】教養教育の進化と構造	760,000	1,000,000	1,000,000
RM養成 (大学分)			
【推進プロ】脳科学研究プロジェクト		900,000	800,000
【推進プロ】新たに発見した脳内食欲調節因子～			800,000
【推進プロ】タンパク質の立体構造		900,000	800,000
【推進プロ】分子動力学アプローチによる群～			800,000
【推進プロ】大規模津波の上水道水			800,000
【推進プロ】環境未来都市モデル		900,000	800,000
【推進プロ】「所有する幸せ」と「行動する～			800,000
【推進プロ】脳内炎症による行動～	735,000	900,000	
【推進プロ】生命理解のための～	735,000	500,000	
【推進プロ】生成消滅する境界の総～	750,000		
【推進プロ】熱帯生産林における～	750,000		
【推進プロ】「人の幸せ」に関する～	300,000	900,000	
【推進プロ】冷戦期のアジア・太～	750,000		
計	7,920,000	9,147,000	9,980,000

【文理融合型リサーチマネージャー養成プロジェクト】

(単位：円)

予算科目名	26年度予算額	25年度予算額	24年度予算額
全学裁量経費 (教育)	0	0	0
部局長裁量経費 (教育)	2,948,000	3,196,000	3,616,000
計	2,948,000	3,196,000	3,616,000

自己点検

本研究科の予算については、毎年度、予算配分要項（財務委員会、研究科長室会議で審議）を定め、教育経費、研究経費、教育研究経費、非常勤教員人件費、非常勤職員人件費、管理的経費により編成を行っている。

学士課程基盤教育費は、教員現員数に基づき各講座へ比例配分、教育研究基盤経費（大学院積算分）は、大学院生の海外発表支援経費として一部控除後、主指導教員へ配分し、学生の指導環境を整えている。教育研究基盤経費（研究費積算分）は、実験系、非実験系の積算単価通りに教員へ配分し、教員の研究環境等の整備を行っている。

また、研究科独自プロジェクト（21世紀科学プロジェクト群、総合科学推進プロジェクト）については、各年度とも部局長裁量経費から措置を行い、新たに発展するプロジェクトの支援を行っている。さらに、文理融合型リサーチマネージャー養成プログラムについては、文部科学省の支援期間終了後（平成21年度）も、学長裁量経費及び部局長裁量経費で措置し、支援を行っている。

なお、経費の執行については、次頁のとおりであるが、毎年度各経理単位の責任者が、責任をもって、単年度で執行したり、総予算の利点を活かした複数年の計画的執行を行っている。

決算額（平成24年度～平成26年度）

（単位：円）

目的別	補助科目	予算科目名	26年度決算額	25年度決算額	24年度決算額
教育経費	基盤教育費	学士課程基盤教育費	38,616,387	33,891,211	38,307,830
	教育特別経費	外国人留学生教育経費	68,685	299,603	232,338
		新入生リエンテーション経費	292,374	1,422,373	995,670
		入学式・学位記授与式経費	161,850	112,887	112,512
		就職関係経費	244,641	285,270	415,780
		学生支援関係経費	639,821	11,480	97,185
		教務関係特別経費	1,283,749	684,906	712,070
		学位論文審査協力経費	0	0	396,180
		講師等経費(旅費)	695,390	1,127,320	955,230
		大学入試センター試験経費	1,297,602	1,310,618	1,296,719
		入学試験経費	415,913	247,841	214,555
		入学試験経費(大学院)	679,056	441,805	467,180
		公開講座実施経費	49,159	15,470	184,407
		教員免許状更新講習経費	19,992	21,059	32,577
		特別経費(教育)	0	0	43,065,000
	裁量経費	部局長裁量経費(教育)	15,282,216	11,824,309	11,436,609
	(小計)	59,746,835	51,696,152	98,921,842	
研究経費	基盤研究費	教育研究基盤経費	89,610,446	101,851,416	82,821,285
		研究員等研究費	1,104	0	0
	研究特別経費	附属施設研究経費	284,370	15,630	292,920
		アウトプット施設等経費	1,529,943	2,035,202	624,817
		特別経費(研究)	0	0	5,250,000
	裁量経費	全学裁量経費(研究)	0	0	1,178,286
		部局長裁量経費(研究)	10,986,873	23,979,572	19,777,895
	(小計)	102,412,736	127,881,820	109,945,203	
教育研究経費	教育研究経費	広報関係経費	4,045,575	3,650,679	3,784,568
		点検・評価関係経費	0	299,250	0
		安全管理関係経費	185,942	85,698	387,500
		(小計)	4,231,517	4,035,627	4,172,068
計			166,391,088	183,613,599	213,039,113

(単位：円)

目的別	補助科目	予算科目名	26年度決算額	25年度決算額	24年度決算額
非常勤教員 人件費	非常勤講師	非常勤講師	4,258,666	9,098,225	7,677,765
	TA(ティーチングアシスタント)	TA(ティーチングアシスタント)	2,584,398	2,815,000	2,738,623
	RA(リサーチアシスタント)	RA(リサーチアシスタント)	1,005,613	1,202,735	1,141,400
	(小計)		7,848,677	13,115,960	11,557,788
管理的経費	消耗品費	消耗品費	2,775,468	3,185,954	3,478,700
		定期行物・消耗図書	272,503	281,572	262,385
	備品費	備品費	336,000	235,200	0
	旅費交通費	国内旅費	267,740	683,216	517,920
		交通費	63,240	42,190	131,480
	通信運搬費	運搬費	3,336	336	17,779
	賃借料	複写機借上	101,832	114,594	113,898
		その他賃借料	1,016,952	1,034,715	761,061
	車両燃料費	車両燃料費	57,888	54,423	55,780
	福利厚生費	福利厚生費	0	289,845	292,670
	保守費	複写機保守費	1,855,668	1,681,006	1,507,958
		建物・施設保守費	101,520	42,000	228,410
		設備・備品等保守	390,096	75,500	232,050
	修繕費	備品修繕費	240,291	239,579	392,175
		その他修繕費	894,892	644,385	580,125
	損害保険料	損害保険料	0	0	0
	諸会費	諸会費	10,882	5,882	5,882
	報酬・委託・手数料	手数料	49,480	48,482	0
		租税公課	0	0	13,200
	雑費	各種業務委託費	1,266,305	1,457,845	1,068,375
		環境整備費	975,564	1,143,281	1,310,918
		放送受信料	153,012	155,346	138,985
		その他雑費	112,320	13,767	0
裁量経費	部局長裁量経費(管理)	0	0	3,006,913	
(小計)		10,944,989	11,429,118	14,116,664	
計			18,793,666	24,545,078	25,674,452
総合計			185,184,754	208,158,677	238,713,565

表5-2-3 役職員・部門長・講座主任など一覧

役職員（平成24年度～平成26年度）

役職名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
研究科長・学部長	吉田 光 演	吉田 光 演	吉田 光 演
副研究科長・副学部長（学術・社会連携担当）・評議員	岩 永 誠	岩 永 誠	岩 永 誠
副研究科長・副学部長（学部担当）	和田 正 信	和田 正 信	吉村 慎太郎
副研究科長・副学部長（大学院担当）	山 崎 岳	山 崎 岳	山 崎 岳
副研究科長・副学部長（総務担当）・支援室長	嶋 市 敬	木 船 直 人	木 船 直 人
研究科長補佐	吉村 慎太郎	吉村 慎太郎	乾 雅 祝
〃	水 羽 信 男	水 羽 信 男	布 川 弘
〃	畠 中 憲 之	畠 中 憲 之	荻 田 典 男

部門長（平成24年度～平成26年度）

役職名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人間科学部門	高 橋 憲 雄	高 橋 憲 雄	坂 田 省 吾
環境科学部門	於 保 幸 正	畠 中 憲 之	畠 中 憲 之
文明科学部門	三 木 直 大	三 木 直 大	高 谷 紀 夫

講座主任（平成24年度～平成26年度）

役職名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
行動科学講座	古 川 康 雄	古 川 康 雄	坂 田 桐 子
人間文化研究講座	安 仁 屋 宗 正	安 仁 屋 宗 正	安 仁 屋 宗 正
環境自然科学講座	開 發 一 郎	開 發 一 郎	戸 田 昭 彦
社会文明研究講座	秋 葉 節 夫	秋 葉 節 夫	材 木 和 雄
地域研究講座	長 田 浩 彰	長 田 浩 彰	要 田 圭 治
情報システム研究講座	中 村 純	中 村 純	相 原 玲 二

プログラム主任（平成24年度）

役職名	平成24年度
地域文化プログラム	浅 野 敏 久
社会文化プログラム	西 村 雄 郎
人間文化プログラム	堀 江 剛
言語文化プログラム	山 田 純
行動科学プログラム	林 光 緒
スポーツ科学プログラム	橋 原 孝 博
生命科学プログラム	石 田 敦 彦
数理情報科学プログラム	栗 田 多 喜 夫
総合物理プログラム	石 坂 智
自然環境科学プログラム	久 我 ゆ かり

領域主任（平成25年度～平成26年度）

役職名	平成25年度	平成26年度
生命科学研究領域	石 田 敦 彦	石 田 敦 彦
人間行動研究領域	坂 田 省 吾	坂 田 桐 子
身体運動科学研究領域	船 瀬 広 三	山 崎 昌 廣
言語研究領域	小 川 泰 生	小 川 泰 生
人間存在研究領域	青 木 孝 夫	桑 島 秀 樹
自然環境研究領域	奥 田 敏 統	佐 藤 高 晴
総合物理研究領域	東 谷 誠 二	田 口 健
情報システム環境研究領域	岩 沢 和 男	岩 沢 和 男
社会環境研究領域	西 村 雄 郎	フンク, カロリン・E. H.
文明史基礎研究領域	大 池 真 知 子	大 池 真 知 子
地域研究領域	田 中 暁	佐 竹 昭

表 5-2-4 審議機関

大学院総合科学研究科（平成 24 年度～平成 26 年度）

名 称	審 議 事 項	構 成 員	議 長	開催回数		
				平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
研究科長 室会議	・研究科及び学部の業務の企画立案等	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 その他必要と認める者	研究科長	37 回	44 回	47 回
研究科 教授会	・長期的な目標，中期目標・中期計画及び年度計画における教育，研究及び社会貢献活動に関する事項 ・教員の人事に関する事項 ・学生の受入れと身分に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程に関する事項 ・研究活動に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他研究科長が必要と認めた事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 研究科専任の教授 その他必要と認める者	研究科長	24 回	23 回	24 回
研究科 代議員会	・教員の人事に関する事項(専任教員の採用・昇任・懲戒等を除く。) ・学生の受入れと身分に関する事項(入学・懲戒等を除く。) ・学位の授与に関する事項(博士の学位審査を除く。) ・教育課程に関する事項 ・研究活動に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他研究科長が必要と認めた事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 部門長 講座主任 人事委員会委員長 教務委員会委員長 21 世紀科学プロジェクト委員会委員長 広報・出版委員会委員長 その他必要と認める者	研究科長	11 回	12 回	11 回

総合科学部（平成24年度）

名 称	審 議 事 項	構 成 員	議 長	開催回数	
				平成 24年度	
学部 教授会	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な目標，中期目標・中期計画及び年度計画における教育，研究及び社会貢献活動に関する事項 ・教員の人事に関する事項 ・学生の受入れと身分に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他学部長が必要と認めた事項 	学部長 副学部長 学部長補佐 学部専任の教授 その他必要と認める者	学部長	13回	
学部 代議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の受入れ及び身分に関する事項（入学・懲戒等を除く。） ・教育課程に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他学部長が必要と認めた事項 	学部長 副学部長 学部長補佐 プログラム主任 プログラム委員会委員長 広報・出版委員会委員長 その他必要と認める者	学部長	0回	

総合科学部（平成25年度～平成26年度）

名 称	審 議 事 項	構 成 員	議 長	開催回数	
				平成 25年度	平成 26年度
学部 教授会	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な目標，中期目標・中期計画及び年度計画における教育，研究及び社会貢献活動に関する事項 ・教員の人事に関する事項 ・学生の受入れと身分に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他学部長が必要と認めた事項 	学部長 副学部長 学部長補佐 学部併任教授 その他必要と認める者	学部長	12回	12回
学部 代議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教授会が定める 	学部長 副学部長 学部長補佐 教育領域委員会委員長 教育領域主任 広報・出版委員会委員長 その他必要と認める者	学部長	0回	0回

表5-2-5 総合科学研究科・総合科学部FD実施状況

平成24年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	7月25日(水) 13:50~14:50	平成23年度総合科学推進プロジェクト研究成果の発表について	72人	
		「時間情報処理に関する脳科学研究プロジェクト」		坂田 省吾
		「『所有する幸せ』と『行動する幸せ』について、人がその一方を重視する要因・因子の解明と、それら要因・因子の日米間における比較考察に関する研究」		早瀬 光司
		「分子動力学アプローチによる群集行動の研究」		畠中 憲之
		「新たに発見した脳内食欲調節因子の合成法の確立と生理機能解析」		浮穴 和義
第2回	2月20日(水) 14:00~15:00	ティーチング・アシスタント制度を活かした教育改善ーその動向と展望ー	67人	丸山 恭司 (広島大学大学院教育学研究科教授)

平成25年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	7月4日(水) 15:00~17:00	大学と教養教育ー戦後日本における模索	108人	吉田 文 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
第2回	7月31日(水) 16:00~17:00	総合科学部新プログラムの進行状況	89人	和田 正信
第3回	10月23日(水) 15:15~16:10	研究大学強化促進事業における本学の具体的取組	101人	吉田 総仁 (理事・副学長(研究担当))
第4回	12月18日(水) 15:20~16:20	「国立大学改革プラン」についての意見交換	101人	吉田 光演
第5回	3月5日(水) 13:50~15:00	情報セキュリティ講習 ～広島大学での最新のセキュリティトラブルの事例とその対策について紹介するもの～	73人	岸場 清悟
第6回	3月19日(水) 11:00~12:00	平成24年度総合科学推進プロジェクト研究成果発表	45人	
		「新たに発見した脳内食欲調節因子の合成法の確立と生理機能解析」		浮穴 和義
		「スウェーデンにおける「人の幸せ」に関する調査研究、及び、その日米スウェーデン間の比較考察研究」		早瀬 光司
		「タンパク質の立体構造と物性を探る：蛍光検出円二色性(FDCC)分光法の新展開」		石田 敦彦
		「大規模津波の上水道水水源と生活用水への影響評価と復旧アルゴリズムの試験的構築」		開発 一郎
		「環境未来都市へ向けて大学は如何に地方のモデルになり得るか」		佐藤 高晴

平成26年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	11月26日(水) 14:00~14:55	セクシャルマイノリティについて	54人	北仲 千里 (ハラスメント相談室准教授)
第2回	1月27日(水) 14:30~15:25	ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法	85人	松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
第3回	3月4日(水) 15:10~15:30	総合科学推進プロジェクト研究成果発表	97人	
		「韓国人における「人の幸せ」に関する調査研究、及び、その日本人米国白人スウェーデン人米国黒人韓国人間の比較考察研究」		早瀬 光司
		「冷戦期のアジア・太平洋地域に関する総合科学研究」		水羽 信男
第4回	3月19日(水) 14:00~15:40	総合科学推進プロジェクト研究成果発表	81人	
		「脳内炎症による行動の変容と神経障害の統合解析」		石原 康宏
		「タンパク質の構造を探索新手法の確立を目指して～蛍光検出円二色性(FDCC)分光法の基礎的研究～」		石田 敦彦
		「生命理解のための実験的モデル 環境に駆動されない自律的非平衡定常系の構築」		田中 晋平
		「熱帯生産林における選択的伐採後の土壌炭素量の変化の解明；気候変動抑止のための新たな国際的枠組みのために」		山田 俊弘
		「持続可能な社会に向けて、大学は如何に地域のモデルになり得るか」		佐藤 高晴
		「生成消滅する境界の総合科学的考察」		乾 雅祝